

プロジェクトで発生するリスクの MBTI を用いた事前予測

プロジェクトマネジメントコース 矢吹研究室 1442085 中村 真悟

1. 背景

欧米では MBTI(Myers-Briggs Type Indicator)という自己理解メソッドがある。MBTI とはカール・グスタフ・ユングの心理学的類型論の指標(内向: I-外向: E, 感覚: S-直感: N, 思考: T-感情: F)に判断的態度: J-知覚的態度: P の指標を加えて, 4 指標 16 タイプとして性格を分類する。主にキャリアカウンセリングやチームリーダー開発などに使用されている。

この MBTI を使い, プロジェクトの開始時点からメンバの性格を理解し, メンバの相互作用が原因となって起こる事象を予測したい。MBTI の性質上, 理想のタイプに近づくこともできる。現状を把握し, 理想のプロジェクトメンバの関係を目指すこともできる。以上のことから本研究では MBTI を用いて, グループワークでの事象とメンバの性格との相関関係について研究する。

2. 目的

本研究の目的は, グループメンバの MBTI の 16 タイプの相互作用がプロジェクトにどのような影響をもたらしているのかを調べ, MBTI のタイプからメンバ間で発生しやすいリスクを予測することである。

3. 手法

以下の手法で研究する。

- 数人のグループを作り, グループワークを行ってもら
- グループワークではいつも通り課題に取り組んでもら
- 課題提出時に MBTI の性格検査 [1] と失敗マンドラ [2] に基づいた事象についてのアンケートを行う
- メンバの性格とアンケートの結果から, 事象と MBTI のタイプにどのような関連があるのかを調査する

4. 想定される成果物

プロジェクト開始時から使用できる MBTI を用いたメンバ間のリスク予測表。並びに, 自己理解メソッドの利点を生かし, MBTI を元にしたリスク対処方法。

5. 進捗状況

プログラミング言語とプログラミングの講義にてグループワークから, いくつかのグループの性格検査と事象のアンケートのデータを取ることが出来た。

現在, データマイニング指導教員である矢吹太郎准教授にグループ分けの方法, 講義で実際に行うグループワークの提案をし, 手法と課題について話し合っている。グループ分けに関しては前回の講義を踏まえ実験計画法に基づき思索している。

6. 今後の計画

データマイニング入門でグループワークを行い, MBTI の性格検査と事象のアンケートを実施する。PM 実験でも同様に性格検査とアンケートを実施する。

参考文献

- [1] タイプ別性格診断. <http://http://www.secret.ne.jp/~delmonte/> (2016.7.23 閲覧).
- [2] 正彦亀倉. 失敗マンドラを活用したアクティブラーニング授業の失敗事例分析とその知識化-学生の「やる気」を引き出す観点から-. *NUCB journal of economics and information science*, Vol. 59, No. 2, pp. 123-143, mar 2015.
- [3] 友佳杉浦. 1-5 レスキュー・マネージメントのためのストラテジック・チーム・ビルディング論. プロジェクトマネジメント学会研究発表大会予稿集, Vol. 2001, pp. 20-25, mar 2001.
- [4] 啓太板倉. データ分析教育へのアクティブラーニング手法の導入提案と実践, mar 2015.